



アドナイ刊

主の山に備えあり (創世記22章)

発行 社会福祉法人 十字の園
 ケアハウス アドナイ館
 細江デイサービスセンター
 発行責任者 河出 雅代

〒431-1304 静岡県浜松市北区細江町中川7437-8
 電話 (053) 439-1200 (代表)
 439-1212 (デイ直通)
 FAX (053) 439-1211

郵便振替 00890 - 9 - 125741
 E-mail: hm-adonai@orion.ocn.ne.jp
 URL: http://www.jyuji.or.jp/hamamatsu_city/adonai/



アドナイ館希望の日

(2020年9月12日)



「楼の上もはにふの小屋も住む人の心にこそはたかきやしき」、(大意)二階造りの立派な家に住む人も、みすばらしい小屋に住む人も、その住む所によって人の値打ちは定まるものではない。その人の心にこそ、尊い、いやしい、の区別があるのだ(島津日新公いろは歌集 南さつま市)。

薩摩半島の西南に位置する南さつま市加世田は「いろは歌のまち」を謳っている。今も城址跡や武家屋敷が往時の面影を残している。編者の島津忠良は明応元年(一四九二)に伊作亀丸城で生まれ、天文八年(一五三九)に加世田別府城主となる。隠居して日新齋と名乗った。息子貴久が本家の養子(一五代)になると、城を望む加世田川沿いに館を構えた。戦国武将、義久(一六代)、義弘(一七代)は、少年時代、度々ここを訪れ、祖父の日新公に教えをうけたという。和歌集「日新公いろは歌」は、江戸時代薩摩藩士の子弟教育(郷中教育)で用いられた。没後四五〇年の今も薩摩の子どもたちはこの歌を学び心と体を鍛えている。日新公(七七歳)辞世の句「いそぐなよ またとどむるなわがこころ さだまる風の ふかぬかぎりは」

(U)



「希望の日に思う」

施設長 河出雅代

九月十二日、敬老祝会が催されました。アドナイ館では、この日を「希望の日」と呼んでいます。当時の入居者の皆さんの投票で決まったとのことですが、十字の園法人理念「夕暮れになっても光がある」の聖句に由来しているのではないかと想像します。

この度のコロナ禍では、入居者の皆さんには感染対策のために様々なお願いをしてきました。内外からたくさんご意見をいただきましたが、それぞれの考え方の違いもあり、皆さんにご理解いただく難しさもありました。しかし、皆さんの協力のおかげで、今日まで大事なく全員そろって希望の日を迎えられたことは大きな感謝です。

前例のない事態に、「感染しない・させない・持ち込まない」とにかくこのことで頭がいっぱいでした。得体のしれないものに立ち向かう恐怖と緊張感の中、皆さんに繰り返しお伝えし

たのは「命と生活を守る」です。「生活を守る」とは単に衣食住が足りればいいというものではありません。感染対策という大義のもと人々の自由や権利をいわずらに束縛してはいないだろうか。「新しい生活様式」といっても、長年の生活スタイルを変え、すぐに順応できる人ばかりではありません。そういう人を追い詰めたりしてはいないだろうか。ソーシャルディスタンスという言葉には物理的な距離のみならず人間関係の距離を感じてしまうのは考えすぎでしょうか。命を守るために生活を犠牲にしているものではありません。葛藤と反省にさいなまれます。そんな現状にあっても、聖書では「光がある」とおっしゃってられています。光は「喜び」であり「自由」であり「希望」です。今後も感染対策は続きますが、どんなときにも「光がある」ことを皆さんに伝え続けることがわたしたちの使命です。

地域のひろば

聖隷学園に、小学校在生しました。学校名は、聖隷クリストファー小学校です。キリスト教精神の隣人愛を基に、日本語を理解した上で、英語イマージョン教育と探究の学びを実践し、グローバル社会に貢献できる児童の育成を目指します。

『聖隷クリストファー小学校 誕生!』

聖隷クリストファー小学校 校長 中村 純

人生100年時代を迎える現在の小学生は、21世紀から22世紀にかけて生きることにあります。今から100年前は大正時代です。今から100年後には、一体どのような社会になっているのでしょうか！

考えなくては いけません。子どもたちにも、どのような力が 必要となる とお考えに なりますか？読解力・理解力・思考力・問題解決力・表現力・ コミュニケーション力・創造力・・・。「自ら考え、主体的に行動して、責任をもって社会に参画し、変革していく力」と表現される こともあります。きっとどれも必要でしょう。では、それらの力を身に 付けるには、どのような教育が必要になるのでしょうか。聖隷クリストファー小学校では、探究学習だと考えています。乳幼児が、言語や知識を身に付けるときも探究的に学んでいて、この学び方の効果が非常に大きいと考えているからです。同時に、やさしく思いやりがあり、隣人愛のある人に育って欲しいです。





「遠い記憶…だったはずが…」

浜松十字の園施設長 古橋美恵子

皆様、初めまして。四月より十字の園の施設長に任命を受けました古橋美恵子と申します。

私、見えないとは思いますが、三月生まれでロマンチストなうお座でございます。そんな夢見る私は、今から三六年位前に、十字の園と出会いました。当時は「聖隷学園高等学校」という校名で現在の聖隷クリストファー大学の敷地に建物がありました。入学してから私は、雨の日も風の日も当然、晴れた日も毎日毎日自転車を通っております。時には遅刻ギリギリになってしまふこともあります。そんな時はちよつと道順を変えて十字の園の脇の坂道を通り、何度か助けていただきました。今でも坂道に感謝しております。これだけの出会いなら懐かしい思い出ですが、少し緊張感のある思い出もあります。労作の授業で十字の園に来たときです。初めてだったのかは覚えていませんが、正門を通り、まっ

すぐ玄関に入っていくと看護師のような制服を着た女性から注意事項を告げられました。すべての言葉は覚えていませんが、階上へ行ったら「名前で呼んでください。決しておじいちゃん、おばあちゃんと呼ばないでください。」という内容でした。さ

らつと流してしまふようなことですが、とても重く、厳しい…。背中がシャン！となる雰囲気でも伝えられました。今でも、十字の園にとってはとても大切な言葉、そして、十字の園の職員だから聞くだけでわかる思い。三六年位前に教えていただいた言葉を今、私は伝えていく立場になりました。あの時の重みや、背中がシャン！とするような雰囲気も思い出しながら、一歩一歩皆とともに成長できたと思っております。どうぞよろしくお願ひします。最後に、私の年齢は計算しないでくださいね。うふふ。

福祉情報 -その146- 事業所紹介-

「日本人に合った根拠ある認知機能低下予防プログラム」

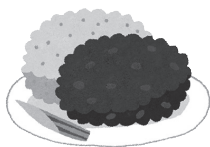
SOMPOホールディングスは国立長寿医療研究センターと共同し、薬物を使わず高齢者の生活習慣への介入を通じて認知機能の低下を予防するプログラムを開発した。7月からグループのSOMPOケアが運営する一部のデイサービスやサービスクラス高年齢者住宅の入居者に提供を開始。『開発したプログラムの名称は、「SOMPOスマイル・エイジングプログラム」。「運動」「栄養指導」「社会参加」「認知機能訓練」の4つの要素で構成されており、高齢者の日常生活に習慣化すること、認知機能の衰えがない健康者から認知症の予備軍とされるMCI、そして軽度から重度の認知症と診断された人まで、幅広い対象者に提供することが特徴。』

プログラムのベースは、高齢者の生活習慣に介入して認知機能低下抑制効果を実証したFINGER研究。科学的根拠があるからこそ自信を持って提供できる。(以下略) (シルバー新報より)

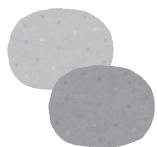
たべもの - 厨房より - あれこれ

「ぼたもち」と「おはぎ」

春と秋のお彼岸に食べる、ぼたもちとおはぎ。この二つの違いはなにでしょうか。実際は、外見も中身も違いはありません。



ぼたもちは、春のお彼岸の季節に咲く牡丹の花にちなんでぼたもちと呼ばれるようになりました。対して、おはぎは秋のお彼岸の季節に咲く、萩の花にちなんでおはぎと呼ばれるようになりました。地域によっては、こしあんや粒あん、うるち米やもち米などの違いがありますが、春はぼたもち、秋はおはぎ、これは共通しているようです。(O)



ケアハウス

米寿への感謝

入居者 齋藤一彦

アドナイ館希望の日に米寿をお祝いいただきありがとうございます。今年一月二十八日誕生日がくると八八歳です。アラビア数字で書くと88で格別なことではないのですが、漢数字で書くと八八、末広がりか二重に現れます。

生まれは東京都渋谷区代官山、育ちは静岡県伊東市、母から五歳の時伊東へ移ったと聞いています。その頃は田方郡伊東町でした。伊東高等学校を卒業して

上京、千葉県松戸市にある住宅公団団地のアパートに住んで東京あるいは川崎の職場へ常磐線その他の電車を乗り継いで片道九〇分ほどの通勤を約四〇年続けました。定



年を迎えた翌年の平成五年四月、新築開館のアドナイ館に入れていただくことに



山本牧師からのお祝いの言葉

かり健康を取り戻したようで、この二七年間いわゆる風邪引きや腹痛などは全く姿を消しています。

今の私の日々は、緑いっぱいの三方原台地を思うままに自転車を駆って東に西に走り回ったり、入居の方々と食卓を囲んでの交わりを楽しんだり、と現役時代には考えられなかった安らぎに満ちた時間を過ごしています。こうした穏やかな日々を支援して下さる職員の皆様には感謝の念を片時も忘れず心に抱いています。そして、これからも健康第一の生活を心掛けて過ごしてまいります。

なり、浜松の地に縁を結んで以来今日に至っています。アドナイ館生活が始まるとすっかり健康を取り戻したようで、この二七年間いわゆる風邪引きや腹痛などは全く姿を消しています。

アドナイ館

節目のご長寿者

最長寿者 98歳

鶴見 きさゑ様

卒寿 90歳

有阪 明宏様

小阪 陽出子様

坂下 愛子様

鈴木 方子様

成沢 たつ様

米寿 88歳

斎藤 一彦様

傘寿 80歳

建入 和枝様

白鳥 徳明様



ケアハウス日誌

7月

21 芳樹会総会

8 自動車文庫

8・22 買い物ツアー

11・25 読書会

15 防災訓練

18 夏の食事会

19 フラワー教室

23 よろず相談(施設長)

5 自動車文庫

12・26 買い物ツアー

19 防災訓練・防災委員会

20 ビューティーヘルパー

21 フラワー教室

25 よろず相談(施設長)

9月

1 防災訓練

9 自動車文庫

9・19 読書会

9・23 買い物ツアー

17 ビューティーヘルパー

18 フラワー教室

24 よろず相談(施設長)

7月・9月

聖書輪読会、筋トレ、カラオケ、紙芝居等は順次開催しました。職員勉強会、栄養相談、芳樹会勉強会、新型コロナ感染予防対策のため中止としました。

7月 セタレクリエーション



あがせ
高得点!!



デイサービス

レクリエーション
日常でのレクリエーション

七夕的入れゲーム。織姫と彦星組って高得点!! 皆様大盛り上がりでした。

8月 夏祭りと枝豆収穫



ぞりあ!!



枝豆収穫
しました。

金魚釣りゲーム!! 揺れ3釣り系に皆様苦戦。

塩茹でし、美味しくいただきました。
甘みがあって美味しかったです。



用紙トレ・ぬり系に耳すり組まれています。職員のアドバイスはいかに・・・

《(♪ デイサービス日誌 ♪)》

	レクリエーション				
	第1週	第2週	第3週	第4週	第5週
7月	セタレク	個別グループ活動	個別グループ活動	個別グループ活動	個別グループ活動
8月	夏祭り	個別グループ活動	個別グループ活動	個別グループ活動	個別グループ活動
9月	個別グループ活動	個別グループ活動	敬老祝会	個別グループ活動	個別グループ活動

《(☆ デイサービスの動き ☆)》

【デイ会議】 7/23 8/20 9/24	【出張】	【サービス担当者会議】 7/17,9/15 (川端、田中)	【実習】	【ボランティアの皆様へ】 現在は新型コロナウイルスの影響によりご遠慮して頂いています。状況が落ち着いた際は、ボランティアのご協力よろしくお願い致します。
--------------------------------	------	-------------------------------------	------	---------------------------------------------------------------------------------

新職員紹介



行方寛隆

出身地 浜松市
部 門 デイサービス



外山博喜

出身地 浜松市
部 門 デイサービス

「のんき」から異動しました。細江デイサービスは、利用者が多くてビックリです。運転手として交通ルールを守り安心してもらえるよう頑張ります。

高齢者の仲間に入りつつも、日々の励みにとデイサービスの運転手として、利用者の皆様方の平穩な生活の一助になればと思います。

曳馬野

コロナなる 見えざる敵を 怖れしか
ひとり主の日の 説教を聴く

春海

腰曲がり 真摯に歩く 人今朝も
学ぶこと多き 恵みのアドナイ

香代子

しあわせと ふと口に出て 廻り見る
コロナの距離も 守られてこそ

佐和子

暗き夜も いつかは晴れると 信ずるも
胸に菓くえり コロナの暗さよ

陽出子

楽しいかと 友のたよりに 逡巡す

三首

雨降るホームに 人の声なし

行きずりに ふと目を合わす 黒マスク

コロナの日々は ギャングスタイル

夏の食事を開催しました！



今年度は、コロナウイルス感染予防のため夏祭りを中止しましたが、夏祭りらしい食事を提供し、楽しんで頂きました。

令和2年7月豪雨災害義援金のご報告とお礼

令和2年7月豪雨災害により被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

アドナイ館の皆様から預かった義援金は、8月31日時点で21,236円となりましたことをご報告いたします。

義援金につきましては、全額、全国老人福祉施設協議会を通じ寄付させて頂きました。

あとがき

新型コロナウイルスの影響により、運動の機会が減りました。今、シニア世代だけでなく、若い世代でも増えると懸念されているのが、筋力低下により引き起こされる「ロコモティブシンドローム」です。

そこでアドナイ館では一〇月より、入居者と職員でラジオ体操を行う取り組みを始めました。初回は五名の入居者が参加して下さいました。これを機にコロナと脂肪を吹き飛ばしましょう。(Y)

『献金者ご芳名』

(敬称略)

献金感謝

7月分	6件
	110,000円
8月分	0件
	0円
9月分	2件
	8,000円
合計	8件
	118,000円
4~9月	
累計	450,000円

7月 佐藤房江、古川幸子、大森七郎、吉崎敬次、匿名二名

9月 山川文敏、匿名

皆様のお支えに心より感謝申し上げます。